

大分県に特化した高齢者の住まい選びの専門家。おおいた県高齢者住まい選びサポートセンターがお送りするニュースレターです。最新ニュースや老人ホーム情報をお届けします。

注目ニュース

最後まで口で食べてほしい

厚生労働省は高齢者の口腔ケアをするスタッフへの新たな研修制度を創設する。歯科医師や歯科衛生士がいない現場でも専門的なケアができるように、病院や介護施設の看護師、介護スタッフに学んでもらう。厚労省は来年度、この研修に約1億円を充て、実施する自治体に経費の半額を補助する方針。

介護施設などを訪問する歯科医師や歯科衛生士のニーズは高まっているが、その数は追いついていない。新たな研修制度によって適切なケアができる施設を増やしていく。

間違っても笑い合える場を

認知症の人たちがスタッフとして働く「注文をまちがえる料理店」が9月都内で開催され、3日間で300人が来店した。

この企画は5年前に発起人の小国氏が、テレビ局のディレクターとして取材したグループホームで、ハンバーグと聞いていた昼食に餃子が出てきた時に誰もその間違いを指摘せず、和気あいあいと食事を楽しむ様子を見たときに思いついた。

「初めて見たその光景に驚いて幸せな気持ちになった。その光景を街の中に溶け込ませて、多くの人にその空気を感じてほしい」そう語る小国氏の報告書代わりという「注文をまちがえる料理店」が発行されている。

今週のオススメBOOK

上記で紹介した本書は認知症を抱える人がスタッフとして働くレストランを企画した理由、そして开店準備からオープン、そしてその後が綴られています。寛容さが世の中を明るくしてくれるかもしれない、そんな希望を待たせてくれる一冊。認知症の方と向き合う方だけでなく子育て世代の方にも読んでほしい本です。

あき出版 小国士朗＝著



奇跡の三日間をつくったのは
認知症を抱える人たちの笑顔でした。写真・森嶋夕貴

注文を
まちがえる
料理店
THE RESTAURANT OF ORDER MISTAKES

つくりかたの

小国士朗

「聞き書き」でこの世に一冊しかない本を

お年寄りが自らの人生を振り返り、語ったことをその人の話し言葉のまま一冊の本に仕立て上げる。そんな「聞き書き」というボランティアがある。話し手は、話を聞いてもらう事で「色々あったけどまんざら悪い人生ではなかった」と人生を振り返り、聞く側は話を聴くことで「話し手はどんな人生を送ってきたんだろう」と、その人に感心を持ち、愛情を持って話しを聴くことが出来る。その人らしさをその人の言葉で紡いでいく作業を共にしていくことで心を通わせて絆が深まるという。

高齢者ケアの現場において大切なコミュニケーションツールの一つとして今後期待されるのではないのでしょうか。

今回は真愛サポートセンターの自己紹介です！

大分市大字豊饒447番地の2



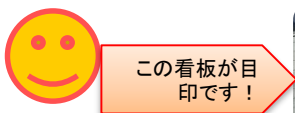
新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

2018年第1号は施設紹介変じて真愛サポートセンターの自己紹介をさせていただきます。

豊饒にある事務所は緑の三角屋根が特徴の建物の2階にあります。1階の事業所では放課後等デイを行っていますので元気いっぱいな子どもたちの声が響き渡っています(^o^)

2階事務所内に打ち合わせスペースもありますので、是非ご利用ください。

皆様からのご相談にスピーディーにお応えできるように精一杯取り組んでまいります。



この看板が目印です！



打ち合わせスペースです。



おおいた県高齢者住まい選びサポートセンター - 0120-33-1765 (9:00~18:00)

社名	株式会社真愛
代表者	後藤 英治
本社所在地	〒870-0855 大分市大字豊饒447番地の2
電話番号	097-579-6801
FAX番号	097-579-6803

